

号」に、「10年後の四教会は？」と題した文章を載せました。

広島教区は、「家庭へのチャレンジ」というテーマのもとに3年間(2014年4月～2017年3月)を過ごしてきました。そして次の3年間(2017年4月～2020年3月)のために、司教様より「教会へのチャレンジ」というテーマが公にされました。わたしたち祇園教会も、「教会」をテーマとして新年度を始めましょう。

「教会を知る」とは、教会とは何であるかを知ることです。教会はどのようにして生まれたのか、私たちは教会に何を望み、教会からどのように恩恵を受け、教会のために何をしているのでしょうか。

そのような流れの中で、来年度の祇園教会の活動方針を、以下のように考えました。

1. 教会を知ろう
2. イエズス会を知ろう
3. 祇園教会を知ろう



祇園教会主任司祭
加藤 信也

2017年度活動方針

私たちの教会について 共に学び、考える



第158号

2017年5月28日

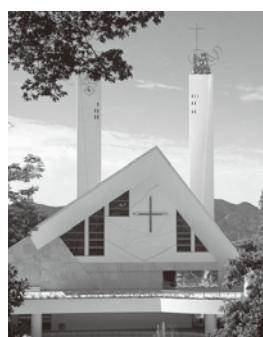
発行所
祇園カトリック教会
信徒会



聖イグナチオ教会



六甲教会



山口教会

神父様の新しい派遣のため
にお祈りください。

主任司祭・加藤 信也

した。イエズス会の四教会(聖イグナチオ、六甲、祇園、山口)は、親戚であり兄弟の関係にあります。これからも協力し、喜びを分かち合って、共に歩んでいきます。四教会からの代表者(1名の司祭と2名の信徒)からなる教会使徒職委員会は、今後も信徒の皆さんのご協力を呼びかけながら、これから教会の姿を考えていきます。

そのような流れの中で、来年度の祇園教会の活動方針を、以下のように考えました。

以上のような思いを込めて、新年度の活動方針を決めました。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

神父様は、默想指導を中心にお招きしてお別れすることもできませんが、福岡でもいつもユーモアをもつて接する人々に温かさと笑顔を届けて下さることでしょう。

「イエズス会を知る」とは、イエズス会の創立者聖イグナチオ・ロヨラという人物や彼が残した「靈操」を知ることです。

塩谷神父さまの異動

塩谷神父様の異動が発表されました。任地は福岡、新

潟共共同体院長で、5月24日より始まります。

新潟

に、そして祇園教会や可部教会の主日ミサ、待降節や四旬節の静修やゆるしの秘跡など、さまざまな場面で私たちを助けて下さいました。

急なことでご出発前に教会

にお招きしてお別れすること

も

できませんでした。先月、誕生日に

おめで

た。おめでた

い

ました。ブル

ーのアジサイを

ながめながら息

子夫婦が仲良く

暮らしている証

と安堵します。

先月、誕生日に

いたいたアマリリスが元気に

成長する姿を母親ながらの思

いで見守っています▼下祇園駅

に降り立つと、広場の向こうの

草花が迎えてくれます。早朝に

は水やりをしながら花守りのお

ばあさんは「今日も一日がんばつ

て」と見送っています。三月になつて、その姿が見えなくなりました

▼おばあさんは日曜日のミサに

休まず与つっていました。教会の聖

堂の前から五列目がおばあさん

の席でした。丸いおばあさんの

姿が急に見られなくなりました

▼復活祭の日、神さまの声がお

ばあさんに届きました。「そろ

そろ、こちらにおいで」▼五月

五日、おばあさんは、神の子と

なつて天に召されました▼おば

あさんはみんなのおかあさんで

した。教会のためにたくさん

物を残されました。おかあさん

の温もりは、

みんなの心の

中で生きてい

ます。

【がここ】



ばおん
5198

母の日の花が届きました。ブルーのアジサイをながめながら息子夫婦が仲良く暮らしている証と安堵します。先月、誕生日にいたいたアマリリスが元気に成長する姿を母親ながらの思いで見守っています▼下祇園駅に降り立つと、広場の向こうの草花が迎えてくれます。早朝には水やりをしながら花守りのおばあさんは「今日も一日がんばつて」と見送っています。三月になつて、その姿が見えなくなりました▼おばあさんは日曜日のミサに休まず与つっていました。教会の聖堂の前から五列目がおばあさんの席でした。丸いおばあさんの姿が急に見られなくなりました▼復活祭の日、神さまの声がおばあさんに届きました。「そろそろ、こちらにおいで」▼五月五日、おばあさんは、神の子となつて天に召されました▼おばあさんはみんなのおかあさんでした。教会のためにたくさん物を残されました。おかあさんの温もりは、みんなの心の中で生きています。



大きな大
復活徹夜
家族5名が
できました。

人の納骨の
日、家族の
洗礼を願う
長男の思い
が明確にな
りました。

加藤神父様には、感謝の気持ちでいっぱいです。長男家族は松山市に住んでいたため、勉強会の出席等、心配な面も多々ありましたが、神父様のご配慮で、乗り越えることができました。今まで、年に数回しか会えなかつた孫たちとも、毎月のように会う喜びもありました。勉強会での神父様のお話を、小学生の三名それぞれが聞かせてくれるのも楽しみでした。これからは、それぞれの家族で神様の話ができることがあります。いつも温かくご指導してください。

☆カタリナ
有村直子
加藤神父様、昨年亡くなつた
義父、代母をしてくれた義母、
たくさんの方に助けられて洗礼
を授かることができました。また、
たくさんの方に祝福していただき、
喜びと感謝でいっぱいです。心からお礼を申し上げま
す。



大きな大きなお恵みです。
復活徹夜祭で、長男・長女の
家族5名が洗礼を授かることが

長男家族は松山市に住んでいたため、勉強会の出席等、心配な面も多々ありましたが、神父加藤神父様には、感謝の気持ちでいっぱいです。

さつた加藤神父様、そして祇園教会の皆様、本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

☆トマス・モア
有村 優人（11才）
緊張したけど洗礼を受けられ
てうれしかつたです。広島に来
たときは、教会に行きます。

☆クレメンス 市川 琉之介（9才）
せん札を受けて、天国のきつ
ふをもらつて、うれしかつたで
す。

ご受洗 おめでとうございます



【左から】市川文希さん(奥)、市川結ちゃん(手前)、有村直子さん(奥)
市川琉之介くん(手前)、有村陸くん、有村優人くん、有村通子さん

The Life of St. Ignatius Loyola

聖イグナチオの生涯

.....Vol.1

ルーベンス(1577~1640)が制作した連作版画「聖イグナチオの生涯」とともに、私たちも聖イグナチオの足跡をたどってみることにしましょう。【編集部】



①イグナチオ・デ・ロヨラは、スペイン、バスク地方にあるロヨラ城で12人兄弟の末っ子として生まれました。母とは7歳で死別。1506年に親戚の騎士でカスティーリャ王国の財務官を勤めていたファン・ベラスケス・デ・クエラルの従者となりました。



②1517年以降、ヨロは軍務について各地を転戦しました。1521年5月20日に行われたパンプローナの戦いで、指揮中に飛んできた砲弾が足に当たって負傷し、父の城で療養生活を送ることになりました。



③療養生活の間、読みたかった騎士道物語がなかったので、ロヨラは仕方なくイエス・キリストの生涯の物語や聖人伝を読みはじめました。やがて、彼の心は大きく変わりはじめます。(左の絵は、ロヨラのもとに、聖ペトロが現れた場面)



写真中央、花束を持った女性が梶山さん。
その左が英神父さま。

一行が、3月28日に来広。英隆一郎（はなぶさ・りょう）神父さまをはじめ、リーダーの青年たちを含む総勢31名が祇園教会に2泊し、原爆ドームや平和公園などを訪れて学び、祈りを捧げました。

宿泊の最終日となる29日の夜には、梶山聰子さん（幟町教会所属、前イエズス会日本管区長・梶山義夫神父さまのご母堂）に、被爆証言をしていただきました。中学生たちは、長旅の疲れをものとせず、鮮明な記憶に基づく梶山さんの被爆証言を、身を乗り出して熱心に聞き入っていました。



2017年3月、東京の聖イグナチオ教会中学生会の僕たちは、山口・津和野・広島巡礼旅行をしました。最後に、祇園教会に泊まりをしました。またまたま巡礼の中で訪れた広島。この場所は、僕たちにとつてさまざまなことを知り、そして考えて学ぶ機会をもちました。

原爆が投下された日、数多くの人が広島で命を落としました。中には、まだ自分たちよりも年齢の低い子どもや、それこそまだ生まれて間もない子どももいました。そのことが自分の中では最も大きな衝撃でした。

「山口・津和野・広島巡礼」の一行が、3月28日に来広。英隆一郎（はなぶさ・りょう）神父さまをはじめ、リーダーの青年たちを含む総勢31名が

広島で学んだこと

伊藤 結日（いとう・ゆに）
中学3年生（当時）

族の命が奪われることは、絶対に許されることではありません。そして、このことを絶対に忘れてはならないと思いまし

た。しかし、実際に原爆を体験した人はとても少なくなっていました。亡くなつた方々のために

最後に、祇園教会に寛大に泊めてください、おいしい食事などお世話をしてくださいました。どうもありがとうございました。前年の乙女崎が厳しかったので、ほつとしました。どうもありがとうございました。

一粒の麦

田辺 まゆみ



故・Sr.佐々木

2月2日シスター佐々木の病状が悪化したため、急きよ長崎行きが決まりました。信徒の方々にお別れのあいさつもできませんでしたが、祈りの内にお捧げなさいました。別れるの朝のシスターの表情は穏やかで、なし終えたという安堵感に包まれていました。シスター

が広島を離れたこと、そして3月5日に亡くなられたことを立て続けに知られ、誰もが驚きを隠せませんでした。

農家出身のシスター佐々木は広島で生まれ育ち、忙しい田植えの日も、稻刈りのときであっても、毎週欠かさず祇園教会のミサに通い続けられました。常に神様が一番で、決して教会を休む口実を見つけたりはなさいませんでした。そんなシスターの一途な思いを神様が放っておかれることはあります。神様はシスターを奉獻生活へ招かれました。

「シスターのいる教会は幸せだ」と言われますが、本当に私たちは恵まれています。私たちは知らず知らずのうちに、シスター方の生き方を手本とできるからです。シスター佐々木はいつもニコニコしながら話しかけてくださいました。教会から足が遠のいた方々のことをとても心配されて、電話で近況を尋ねたり、時には家庭訪問をなさって、神様のもとに戻ってくるよう力を尽くしていました。「あの人をよろしく」と、今も天国から呼びかけておられるのを感じます。

「一粒の麦は地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ」（ヨハネ12:24）という聖書の言葉が思い起こされます。多くの種をまいてくださったことに感謝しています。天国でその実りを見届けてください。

第28回 春のふれあいバザー

日時：6月11日 10時ミサ後

信徒の交流、幼稚園と教会との親睦を



大きな柱として、和やかに楽しく過ごしましょう。ステージへの参加もいざ！

せいしん幼稚園だより 入園一週間の子どもたち



入園から約一か月
が経った年少組で
す

初めての幼稚園、初めての先生、初めてのお友達。今までの生活とは違った刺激に驚き、戸惑い。入園当初は泣き叫ぶ声が

たくさん聞こえましたが、今ではあちこち動き回り行動範囲が広がってきています。不安で仕方なかった心が好奇心に変化していっているのではないでしょか。

先日お弁当も始まり、園で過ごす時間が長くなりました。お昼は慣れない手つきで一点を見つめ、弁当箱を袋から出すところから箸箱を開けるまで、ひとつひとつに一所懸命な子どもたち。自分一人で準備し片付けられることの喜びを味わっているところです。

そんな毎日を精一杯過ごしている年少組ですが、最近年中組の子どもたちが懐かしさからか、よく年少組の部屋を訪れてくれます。泣いている子どもに声をかけたり片付けの仕方を教えてくれたり、率先して動く姿は大変頼もしく感じます。一年前までは大泣きしていた子どもたちの成長ぶりに改めて驚かされます。今ここにいる年少組の子どもたちも一年後はお世話する側になっていると思うと、とても不思議な気持ちですがこれからたくさんの遊びや行事の中で色々な経験を重ねて、強くやさしく育つといつて欲しいと思います。

今年度も笑顔溢れる清心幼稚園でありますように。

【年少組担当 南 茉美子】

神のなさることは
時にかなつて美しい(詩編)

これまでの長い道のりを慈しみ深い神のみ手の中で守り導かれてきたことを思う時、神に向かうこの道を意識した当時のことを思い出します。私は10人兄弟の末っ子として生まれ、父は私の生まれた翌年に他界しました。それで母とは特別に深い繋がりがありました。そのような境遇の中で過ごしている頃、当時レジオ・

マリエという教会活動があり、同年代の友達と一緒に参加していました。ある時、シスターから全く予想もしていないことばがありました。「あなたは自分の生涯を神に捧げて働くシスターになりたいと思いませんか」との事。私は即座に「ノー」と答えました。私の心中に母と別れられないという思いがあったからです。でも不思議なことにその時以来、シスターになりたいという思いが強くなっていました。それで意を決して母に打ち明けまし

た。母は絶句し悩んだ末、主任司祭の所に相談に行きました。「娘をあと3年間自分のそばに置きたい事、そしてまだ成人式も迎えていない子どもの意志を確かめたい事……」など話したところ、司祭は優しい笑顔で「この3年の間に娘が召命を失うことになつたら、あなたは神様の前に責任が取れますか？」娘は神様がしばらくの間、あなたに預けておいたものです。だから神様のみ旨のままに今、お返ししなさい」と諭され、あなたを手放す決心がつ

☆クレメンス	市川琉之介
☆コルカタのテレサ	大庭秀子
☆マダラのマリア	佐東由美子
野田祐子	市川川島
藤本道生	佐東由美子
浦壁八重美	大庭秀子
西村拓也	大庭秀子
☆パウロ	大庭秀子
☆マリア	佐東由美子
☆沼田地区	佐東由美子
△山本地区	佐東由美子
△ミカエル	佐東由美子
△長束地区	佐東由美子
どうぞよろしく	(転入)

お知らせ

じ受洗おめでとハジヤシラモト

がら送りだしてくれた母に、感謝を込めて金祝の花束を贈りたいと思います。

ご帰天（お祈りください）
（長良也）

浦壁八重美
西村 拓也
☆マリア
☆パウロ
〈沼田地区〉

じうぞよろしく（転入）
☆ミカエル
〈長束地区〉
藤本 道生

☆クレメンス 市川琉之介
☆コルカタのテレサ

☆テラエル	☆ベルナデッタ	☆カタリナ	☆トマス・モア	有木美千子	池澤博樹
〈祇園地区〉	〈安地区〉				
有村	有村	直子			
陸	優人				

☆マリア・レギーナ
〈可部地区〉
☆マリア
〈地区外〉
☆マリア・アスンタ 佐々木貴怒桂
☆ヨハンナ 富田 定子
上田トヨコ